

第1回多職種連携研修会 参加者アンケート集計結果(一部抜粋)

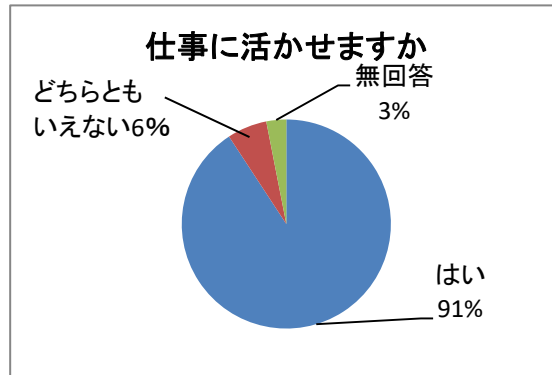
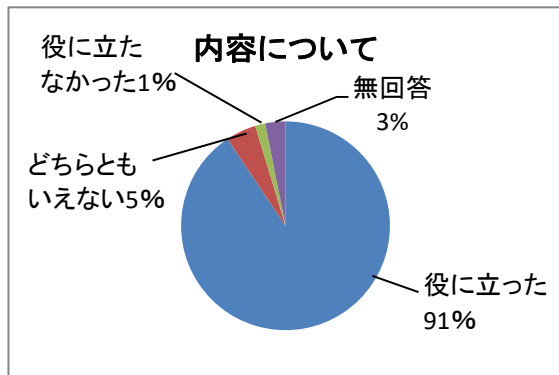
○参加者:76名

○アンケート回収率:82% (回答者:65名)

内訳: 医師	4名	ソーシャルワーカー	2名
歯科医師	3名	相談員	4名
薬剤師	4名	介護福祉士	6名
看護師	2名	訪問介護	1名
保健師	1名	ケアマネジャー	35名
理学療法士	1名	その他	2名

○研修についてのご感想をお聞かせください。
内容はいかがでしたか？

○研修の内容は、お仕事に活かせそうですか？



○精神疾患を抱える方を支援する上で、困難に感じたこと、逆に工夫していることなどがあればお聞かせ下さい。

【困難に感じていること】

- ・1対1で対峙する事の精神的な負担
- ・お互い理解し合えないことです
- ・事実と違う事を訴える場合の対応→だんだん妄想がエスカレートしてくる。
- ・サービスに当てはまりづらい支援
- ・食事を拒否する方の支援
- ・不眠の方の支援
- ・高齢者の抗精神薬のコントロールの難しさ(傾眠著明など)
- ・何事も患者本人の同意が必要であり、強制的な医療や介護を行使できないことがあり、困難だと思えます。
- ・毎日お客様の精神状態に変化があり、対応に戸惑う事も多くあります。服薬確認の難しさもあります。
- ・御本人の気持ちが開示されない部分が多く、理解が届かない所が難しく感じます。
- ・キーパーソンがいるかないかで大きくかわります。キーパーソンも病んでいるというか、家族全体が病的な家族への対応が難しいです。

【工夫していること】

- ・信頼関係を築くまでがすごく遠い(大変)。頻回に訪問をするようにしている。
来られない時前もって話をしておく等
- ・とにかく味方という立場にたち、話を傾聴する。
- ・その方がどのような環境で落ち着くのかを考える。
- ・なかなか本人によって個人差があるので、その方にあつた接し方を心がけています。
- ・デボ剤(持効性注射剤)の選択
- ・その時々により受けとらえ方が大きく変わるので、本人の状態を感じとり、言葉を選んで対応しているものの、専門的な知識を持ち合わせていないので、正しいかどうか…と考えることがある。
- ・Faとの関わり方には注意しています。
- ・お伝えしたいことが伝わらない。伝えても怒られたとなる。だんまりする。無視される。
←なので、その方が信頼している方(職員)に伝えてもらうようにしている。
- ・話を聞いています。不安にならないように配慮している。
- ・服薬がきちんとされているか精神的に安定しているかHH訪問時が確認し、服薬もれの際、声かけする等支援しています。
- ・何気ない会話の中に真意をくみ取れる時もあり。
- ・はい、いいえで終了する質問はなるべく避ける。どちらでもないという選択肢も用意し、精神面での負荷をかけさせない。